

令和5年度組織目標

部局名	商工観光労働部
R5年度 特に注力する 事項（目 標）	<p>○滋賀の産業を担うひとづくりの推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援機関*の支援による就職者数 4,410人 *しがジョブパーク（若者）、シニアジョブステーション滋賀（中高年齢者）、滋賀マザーズジョブステーション（女性）、働き・暮らし応援センター（障害者）、外国人材受入サポートセンター（外国人） ・滋賀の産業を支える人材の育成に向けた高等技術専門学校（テクノカレッジ）のあり方の具体的検討 ・県立高等専門学校開設に向けた経済界との連携
	<p>○産業の創出と中小企業の活性化</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業誘致戦略の策定：R5年7月に策定 ・滋賀県景況調査におけるDXの取組状況について回答のあった事業者のうち、今後も継続して取り組むとした事業者の割合：35%
	<p>○シガリズムの推進強化</p> <p>目標：</p> <p>シガリズムを推進し、滋賀の魅力発信に取り組み、国内外から更なる観光誘客を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ①延べ観光入込客数 R5 49.7百万人（R6 54.1百万人） ②観光消費額 R5 1,817億円（R6 2,139億円） ③県北部地域における地域発誘客イベントの開催を支援することで、県内外からの誘客を促進し、北部地域の観光を活性化させる
	<p>○事業者のCO2ネットゼロへの取組の推進</p> <p>目標：</p> <p>CO2ネットゼロ関連の製品・サービスの開発、社会実装等への支援や啓発</p>

所属名	商工政策課
R5年度に 特に注力する 事項（目 標）	<p>○物価高騰等に対する機動的な事業者支援の実施</p> <p>目標：</p> <p>社会経済情勢や価格転嫁状況等を踏まえた事業者支援の実施</p>
	<p>○近未来技術等の社会実装の推進</p> <p>目標：</p> <p>新しい技術やビジネスモデルの実証実験数 6件</p>
	<p>○【見直し・効率化】更なるペーパーレスの推進</p> <p>目標：</p> <p>環境の整備、意識改革</p>

所属名	産業立地推進室
R5年度に 特に注力する 事項（目 標）	<p>○地域未来投資促進法に基づく新基本計画の策定</p> <p>目標：</p> <p>R6年3月に策定</p>
	<p>○産業誘致戦略の策定</p> <p>目標：</p> <p>R5年7月に策定</p>
	<p>○【見直し・効率化】産業立地推進協議会研修会の効率化</p> <p>目標：</p> <p>研修会を効率的・効果的に実施できるよう開催方法を見直す</p>

所属名	中小企業支援課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○「滋賀県中小企業の活性化の推進に関する条例」の一部改正 目標： 年度内の条例の一部改正 条例改正を踏まえた令和6年度新規事業の構築 3件以上
	○経済社会情勢に応じた制度融資の状況把握および見直し 目標： ゼロゼロ融資の返済等の状況を的確に把握するとともに、必要に応じた制度融資の見直しを速やかに行う。
	○【見直し・効率化】手続の電子化・簡素化の推進 目標： ノーコードツールの活用を検討・推進する業務 3件以上

所属名	モノづくり振興課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○イノベーション創出に向けた拠点整備と連携の推進 目標： ・ 東北部工業技術センター米原新庁舎の令和7年度供用開始に向けて、令和5年度中に設計を完了し、建設に着手 ・ デジタル高速無線通信・EMC評価ラボの令和6年度供用開始に向けて、令和5年度中に工業技術総合センター電波暗室を改修し、最先端設備を導入 ・ 信楽窯業技術試験場と陶芸の森と信楽焼産地の連携交流による「コトづくり支援」の推進 ・ 工業技術センターと関西広域産業共創プラットフォームとの連携強化に向けて、積極的に働きかけていく
	○未来を拓くモノづくり人材の発掘・育成 目標： ・ つちっこプログラム参加者数(児童・生徒、親子)：13,000人 ・ 地場産業・伝統的工芸品魅力体験事業実施校数：10校 ・ 地場産業「近江のデザイナー」マッチング件数：6件 ・ 企業人材のDXスキル強化(社内SIの育成)：5社 ・ 滋賀ジュニアリサーチグラント採択チーム数：8チーム
	○【見直し・効率化】課独自の定時退庁日(毎月初日)の設定 目標： 意識喚起と一層の業務効率化で実施率75%を目指す

所属名	労働雇用政策課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○滋賀の産業を支える人材育成に向けた高等技術専門校のあり方検討 目標： R5.10までに企業・求職者ニーズに応じた高等技術専門校のあり方について審議会から答申、その後令和7年度からの再編を目指し、組織名称の変更を含め具体的な検討
	○中小企業の働き方改革の推進 目標： ・ 滋賀県ワーク・ライフ・バランス推進企業の新規登録企業数(従業員数100人以下の企業) 50社 ・ 社会保険労務士会との連携による働き方改革サポート診断 40社
	○若者、高齢者、障害者、外国人等の多様な人材の活躍促進(就労支援) 目標： 就労支援機関*の支援による就職者数 3,570人 *しがジョブパーク(若者)、シニアジョブステーション滋賀(中高年齢者)、働き・暮らし応援センター(障害者)、外国人材受入サポートセンター(外国人)
	○【見直し・効率化】時間外労働の要因となる業務の洗い出しと対策の検討 目標： 業務の平準化による時間外労働の削減 対前年比10%減

所属名	女性活躍推進課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○パートナーしがプラン2025の推進 目標： プランの中間評価の実施および男女共同参画センター・滋賀マザーズジョブステーションの機能強化の具体的検討
	○企業における女性の活躍推進 目標： 滋賀県女性活躍推進企業認証取得（二つ星以上）：140社
	○男女共同参画意識の定着に向けた教育・啓発 目標： 小中高等学校における男女共同参画社会づくりのための副読本・教材活用率：80%
	○【見直し・効率化】各種調査等のDX化の推進 目標： 調査先の負担軽減と集約作業の改善につながる方法を検討し実施

所属名	観光振興局
R5年度に特に注力する事項（目標）	○シガリズムの推進強化 シガリズムを推進し、滋賀の魅力発信に取り組み、国内外から更なる観光誘客を図る 目標： ①延べ観光入込客数 R5 49.7百万人（R6 54.1百万人） ②観光消費額 R5 1,817億円（R6 2,139億円） ③県北部地域における地域発誘客イベントの開催を支援することで、県内外からの誘客を促進し、北部地域の観光を活性化させる
	○びわ湖大花火大会の安全かつ円滑な復活開催 4年ぶりの復活となるびわ湖大花火大会の安全かつ円滑な開催に向け、びわこビジターズビューローや大津市をはじめ、関係機関等としっかりと連携しながら、入念な準備を進める。
	○【見直し・効率化】局内協議のペーパーレス化 目標： 局内協議の完全ペーパーレス化

局内室名	観光振興局 観光企画室
R5年度に特に注力する事項（目標）	○シガリズムの推進強化 シガリズムを推進し、滋賀の魅力発信に取り組み、国内外から更なる観光誘客を図る 目標： ①延べ観光入込客数 R5 49.7百万人（R6 54.1百万人） ②観光消費額 R5 1,817億円（R6 2,139億円） ③県北部地域における地域発誘客イベントの開催を支援することで、県内外からの誘客を促進し、北部地域の観光を活性化させる
	○誰もが楽しめるビワイチの推進 目標： ①琵琶湖一周サイクリング体験者数 100千人 ②女性のアプリ利用者割合 25% ③「ビワイチの日」「ビワイチ週間」の子どもの参加割合 4.5%
	○【見直し・効率化】局内協議時間の短縮 目標： 局内協議時間を原則30分以内に設定

局内室名	観光振興局 シガリズム推進室
R5年度に特に注力する事項（目標）	○シガリズムの推進強化 目標： ①滋賀ならではの観光コンテンツの開発 64件 ②情報配信サービスを活用した情報発信 全30回+テレビ番組放送 広告換算額5億5千万円
	○インバウンドの回復に向けた取り組み強化 目標： ①国内に所在する本県へ送客実績のあるLOP（ランドオペレーター）からの欧米豪観光客の送客人数：1800人
	○【見直し・効率化】局内協議時間の短縮 目標： 局内協議時間を原則30分以内に設定

局内室名	観光振興局 ビワイチ推進室
R5年度に特に注力する事項（目標）	○誰もが楽しめるビワイチの推進 目標： ①琵琶湖一周サイクリング体験者数 100千人 ②女性のアプリ利用者割合 25% ③「ビワイチの日」「ビワイチ週間」の子どもの参加割合 4.5%
	○安全・安心なビワイチの子ツアーの展開 目標： ①ビワイチの子推進事業の参加者数 150人
	○【見直し・効率化】局内協議時間の短縮 目標： 局内協議時間を原則30分以内に設定